

甲山フェスティバル2016

学校長 松本 修身

高校卒業後、自分の高校生活を振り返ってみて、心に強く残っている思い出の中には、修学旅行、体育大会、定期戦等と並んで、必ず文化祭が入ってきます。それは、皆さん全員が何らかの形で文化祭に関わりをもち、何かをつくりあげ、発表する場であったため、終わった後には最高の達成感、充実感を得ることができる貴重な機会であるからでしょう。

さて、今年度開催される第32回甲山フェスティバルのテーマは、

「 凜 ～ The sky is the limit ～ 」

です。この「凜(りん)」という言葉は、辞書によると「態度、容姿、声などが、厳しくひきしまっている様子」とあります。また、「The sky is the limit.」は「どこまでも高く限りのない空を制限とする」ということから、「制限なし、限度なし、可能世は無限大」という意味になります。ぜひ、後者の意味だけでなく、前者のそれも併せ持った「甲高らしい」文化祭であってほしいものです。

私は、始業式・入学式において皆さんに「甲高を好きになってほしい」とお話ししましたが、皆さんが「甲高サイコー」を体感できる「仕掛け(学校行事)」のひとつが、来たる文化祭(甲山フェスティバル)です。どうか「やるときはやる」、しかし「メリハリのある」甲高生の姿を見せてください。そして、生徒会、クラス、部活動において皆さんが力強く、さわやかにパフォーマンスを行うことで、表現者と観客が一体となった感動・感激を味わうことができるよう大いに期待しています。

最後に、準備等に関わってくれたすべての方に感謝しつつ、さあ、思う存分、甲フェスを楽しみましょう。